

■経営学部流通マーケティング学科の教員養成目標

■流通マーケティング学科■

■高校一種（商業）

流通マーケティング学科は、市場を創造し、顧客や取引先、社会との良好な関係を構築するための流通・マーケティングに関する専門知識と技術を修得し、流通業、製造業、サービス業、及び非営利組織における問題解決に貢献しうる良き市民、良き企業人を養成することを旨とする。その理念のもとで、グローバルな視点から企業や社会の問題解決を行うために必要な幅広い教養と実践的知力を持った人材、経営、経営情報、会計、流通・マーケティング分野の基礎知識を持った人材、流通・マーケティングにおける高度な専門知識と分析能力を持った人材の養成を目的とする。本学科における教員養成は、経済活動の基礎となる市場の概念や、経済主体の行動について学ぶことで社会や経済のしくみについて理解し、そのうえで、経営や流通、国際ビジネス、会計、簿記、マーケティングに関する基礎的な知識・技能を養う。さらに、国際会計や経営管理、商法、税法などのより専門性の高い知識・技能を養う。こうした学びを通じて、高等学校の商業科教員として求められる必要かつ十分な知識と、それを教材として運用できる能力を兼ね備え、複雑化、多様化し、国際化する学校教育現場に、適切に対応できる教員を養成する。